

東京大学運営方針会議メール審議(令和7年度第1回)

議事要旨

1. 日 時:令和7年10月14日(火)発議 10月16日(木)審議完了
2. 方 式:メール審議
3. 対 象 者:藤井、相原、菅野、林、後藤、村本、山本、Welser、Gruss、武田、野田、程、本田、Mehta 各委員
4. 審議事項

1 リスクガバナンスの強化について

本学におけるコンプライアンス事案へのこれまでの対応状況および現状、さらに大学執行部が検討中の今後のリスクガバナンス強化策について、資料の共有があった。

この内容を踏まえ、運営方針会議において、本学の不正行為対応の改善に向けて必要な措置を総長に求める提案がなされ、審議の結果(賛成13、棄権1)了承された。

また、改善のための措置の策定にあたっては、次の事項に十分に留意することとした。

- 1)既存の仕組みの反省点を明確化しつつ、国際機関や民間企業等において広く用いられている「Three Lines モデル」を組み込むなど、堅牢かつ実効性のある仕組みを構築すること。
- 2)初期対応の迅速化を含めたリスクマネジメント体制を構築すること。
- 3)倫理規範・行動規範の改訂および周知徹底含め、組織風土の改革のために必要な仕組みをあわせて整備すること。

2 本件メール審議に係る資料の非公開について

現在調査中のコンプライアンス事案に関する情報が含まれており、公開することにより今後の調査や対応に影響を及ぼすおそれがあるため、本件メール審議に係る資料を非公開とすることについて提案があり、審議の結果(賛成13、棄権1)了承された。

以上